



謹んで新年の
御慶びを申し上げます

二〇一七年 元旦
愛媛医療センター職員一同

氷瀑:白猪の滝(東温市河之内)

年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様はどのような新年をお迎えでしょうか。愛媛医療センターは昨年末に道路沿いの樹木を伐採して、周囲から病院建物がよく見えるようになっていきます。春の桜が少なくなりさみしいところもありますが、今後は病院前の市道が拡張され、通院などがより便利になると喜んでいきます。結核治療が中心だった療養所時代は少し隔離された雰囲気があったのですが、オープンな病院への変化を感じています。

昨年からは二次救急輪番病院として当番日には多くの救急車を受け入れ、またそれ以外の日にも可能な限り急病の患者も受け入れて、地域の皆さんが安心して暮らしてもらえるように努めています。超高齢社会を迎え、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることがで

きるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築が進められています。医療に関して在宅医療の重要性が強調されています。その在宅医療が成功するために、いつでも、必要なとき、必要な期間入院できるベッドがあることが大切であり、「ときどき入院、ほぼ在宅」が目標とも言われています。当院は地域住民、特に高齢者の方々が入院を必要なときに、適切な医療を提供できるような病院でありたいと考えています。今年も愛媛医療センターが地域の皆様にとって役立つ病院として活躍できるよう、ご支援をお願い申し上げます。

院長 岩田 猛



平成28年10月1日より愛媛医療センターに神経内科医として赴任いたしました、松本清香と申します。愛媛大学を卒業後、2年間の初期臨床研修を愛媛大学医学部附属病院で終え、1年間松山赤十字病院で後期レジデントとして勤務させていただいた後に、愛媛大学医学部附属病院の老年・神経・総合診療内科学講座に入局致しました。その後は大学病院で診療に従事しておりましたが、この度縁あってこちらで勤務させていただくこととなりました。

神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科です。ここに異常が起きると、身体を動かしたり、感じたり、考えたりすることがうまくできなくなり、ADL低下に直結することになります。特に当院で入退院を繰り返している患者さんには、はっきりとした原因や治療法がない神経難病の患者さんが多くいます。当科では根本的な治療がなくても、ADLを改善し日常生活を送ることが可能

となるような治療を行ったり、直接治療法がなくとも少しでも生活がしやすくなるよう医療介入を行ったりしています。神経難病をはじめとする神経疾患で最も大切なのは、患者さんを取り巻く環境を、患者さん本人だけでなくその家族にとっても最良のものに整えることであると考えています。そのためには医療者及び介護者、家族など多数の人と人との間での連携が不可欠です。当院ではそこをしっかりと学びたいと考えています。まだまだ未熟で勉強しなければならぬことが多くありますが、頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

神経内科医師 松本 清香

職員御礼 健康フォーラム2016

平成28年10月2日(日)に東温市中央公民館で医師会・歯科医師会・愛媛大学医学部附属病院・愛媛医療センター・保健所・消防本部・東温市の共催で開催されました。

今年は「おいしく食べて健康に」のテーマで原瀬忠広先生の「健康寿命延伸のための歯科医療～口腔(くち)から始める糖尿病予防～」の特別講演がありました。食事が普通に食べられることの幸せと歯の大切さをあらためて感じました。

会場では、沢山のイベントが開催されていました。「お口と歯の健康チェック」「乳がんから女性を守ろう」「作ってみようあなただけの指輪スタンド」「歯科衛生士さんのお仕事体験」「消防サーキット体験」などがあり、当院からは、「測ってみよう肺年齢」「お悩み解決!健康相談」「健康にイイ寝!アロマでリラックス」「シャンピーバルンアート」「お菓子でおくすり作り」のイベントを開催しました。

育児疲れ?のお母さんと子どもと一緒に横になり、アロママッサージを受けながらウトウトとリラックス。おくすり作りでは、チョコとラムネを親子で数え、器械に入れ、出来上がった名前入りの薬袋を受け取り、薬に興味を持ってもらえたようでした。また、美味しいにおいに誘われてロビーに行くと特産品販売コーナーもあり、ゆるキャラグランプリ2016で31位になった東温市の『いのとん』も応援に来てくれていました。とても愛らしかったです。地域の皆様に健康に関心を持ってもらうことのできるイベントだったと思います。来年は、どんなイベントがあるのか今から楽しみです。

看護部長 金中 礼子



地域の輪



コンフォール志津川

繋がる地域医療連携

サービス付き高齢者向け住宅コンフォール志津川は、平成26年8月に介護や医療を必要とする方の為に東温市志津川の新しい「介護・医療のシンボル」を目指して開設しました。愛媛医療センターをはじめとする医療施設が整っている環境にあるということで、市内、市外のほか県外からの問い合わせもありご入居されています。

又、ヘルパーステーション（介護スタッフ24時間在中）・デイサービスも建物内に併設しており安心して楽しい生活を支援します。



ご入居後の生活は自由。もちろん外出・外泊も自由で、ご自分のペースでご自宅同様、ゆったりと自由に過ごす事が出来ます。

全室個室で、使い慣れた家具や生活用品を持ち込んで頂き、施設ではなく「住まい」としてご自分のお部屋として、時には入居者様の家族様の宿泊など、ご自宅と変わりなく使って頂いています。

その他にも、月一度の外出行事、誕生会、季節行事、外部ボランティアのレクリエーションなど、入居者様同士の交流の場の提供も行っております。

大切なご家族様の、終の棲家となりうるよう、癒しの空間、アットホームな雰囲気心を掛けてきめ細かなサービスを提供しつつ、地域密着としての役割を果たしていけるよう努力して参ります。お近くにお寄りの際には、お気軽にお立ち寄りくださいませ。コンフォール看板犬「豆柴・ココ」と美味しいCoffeeをご用意してお待ちしております。

施設名：サービス付き高齢者向け住宅

コンフォール志津川

経営母体 株式会社 ワイズ・ホールディングス

住所：東温市志津川甲773

電話：089-990-7788

ファックス：089-990-7791

医心伝心

膵のう胞性腫瘍のおはなし

みなさんは膵のう胞性腫瘍という病気をご存知ですか？膵のう胞性腫瘍とは膵臓にできる袋状の形をした腫瘍のことで、超音波やCTなどで偶然に見つかることが多く、良性の段階（過形成や腺腫）から悪性の段階（癌）へと変化していくことが知られています。一般的な膵臓癌の場合、悪性度が非常に高く、発見時すでに進行していることがほとんどなのですが、この膵のう胞性腫瘍は癌になる前に診断することも可能なため、良性か悪性かを見極めることが重要になってきます。

膵のう胞性疾患の悪性度を判定する条件には次のようなものがあります。膵液を流す管（主膵管）の太さが1cm以上、黄疸の症状がある、のう胞の内部に造影される結節がある、のう胞の大きさが3cmを超えているなどです。これらの診断は腹部超音波検査、CTやMRI、時には内視鏡を用いて行います。治療としては外科的切除になりますが、比較的早期に治療できれば、通常の膵癌とは異な

各科のドクターがそれぞれの専門分野から、病気・治療・予防等々フリーテーマで一文をしたためます。

り、良好な予後が期待できます。

近年、画像診断装置の進歩と普及により、膵のう胞性疾患を目にする機会はかなり増えてきました。全人口の約2～3%に合併しているという報告もみられ、決してまれな病気ではありません。特に、80歳以上では8～9%にまで合併頻度が上昇し、年齢とともに増加することも特徴です。

そのほとんどが無症状であるため、症状のないうちから定期的な腹部のスクリーニング検査を受けるよう、お勧めします。



消化器内科医師 廣岡 可奈

私たちの未来図



11月8～10日の3日間、愛媛県立東温高等学校の生徒15人が、インターンシップに来院されました。3日間の体験を通して、感じたことを書いて頂きましたのでご紹介します。

菅野雄椰さん

3日間の体験を終え病院のしくみやそれぞれの部署の仕事、病院内での連携などたくさんことを学びました。自分にとってとても良い経験になったと思います。この体験を自分の将来に活かしこれから頑張ります。

吉良孝藝さん

インターンシップに参加して、コミュニケーションの大切さ、命の大切さを改めて実感することができました。インターンシップで学んだことを学校生活の中で実践し、社会に出たときに困らないようにしていきたいです。

仙波亜弥佳さん

今回のインターンシップで一番心に残ったことは病院内でのコミュニケーションの大切さです。病院内で連携するためにも必要であり患者さんと接するためにも必要で、病院内に無くてはならないものだと思います。

真鍋綾さん

私が最も印象に残っているのはOP室です。初めてOP室に入りました。ドラマで見るより広く感じ、たくさんの器械もあったため驚きま

した。実際に着用するガウンも着させてもらい、なかなかできない体験ができて楽しかったです。

渡邊加菜さん

私が一番印象に残っていることは、看護師さんのコミュニケーション力です。患者さんと接しているときに、寄りそっている表情などが素敵でした。これからの高校生活でコミュニケーション力を付けて夢を叶えたいです。

上田彩稀さん

今回、初めて看護師の仕事を経験してみて、とても大変な職業だということがよく分かりました。大変なことはやりがいにつながるという看護師さんの言葉にとっても憧れると思いました。3日間で貴重な経験ができました。

K.Mさん

今回の実習で色々なことを経験し、たくさん学ぶことができました。やっぱり1番大切なのはコミュニケーションの高さだということを知り、3日間で改めて感じました。今後の学校生活に学んだことを生かしていきたいです。

細谷侑未さん

今回の職場体験で医師や看護師さんが働く姿を側で見ることができ、とても魅力を感じました。長年の夢である看護師になれるよう、学んだことを活かし、がんばります。貴重な3日間でした。ありがとうございました。



東温高校インターンシップ

奥田玲央さん

今回のインターンシップを通して病院は色々な部署から成り立っていることを知った。そして各部署の見学をして仕事の大変さや、責任感を感じることができた。貴重な体験ができた3日間となり本当に良かった。

竹村有梨沙さん

この3日間の体験で、様々な職業について詳しく学べてよかったです。私は将来、栄養士になりたいと思っているので、栄養士について知らなかったことをたくさん学べたので今後の学校生活に活かしていきたいです。



小倉宥希さん

僕は今回のインターンシップでたくさんのことを学ぶことができました。僕は将来看護師になりたいと思っているのでこの3日間で学んだことを活かしてがんばっていきたいと思いました。

武智さん

私の夢は将来看護師になることです。今回のインターンシップで看護師について多くのことを学ぶことができました。また、私の知らなかった他のリハビリ系の職業についても知ることができたので良かったです。



青野沙菜さん

私は管理栄養士に興味があり、今回お話を聞いたり見学など貴重な体験をさせていただきました。その他の部署についてもお話を聞くことができ、自分の将来の選択肢も広がりました。ありがとうございました。

猪上花和実さん

私は、今回の体験で、将来の夢である栄養士のお仕事の内容や今の自分に足りない部分がありました。だから、高校生活でコミュニケーション能力を高めることや勉強の習慣を身に付けることを頑張りたいと思いました。

山本千浩さん

今回、インターンシップに参加させていただきとてもいい経験になりました。各部署の先生方の仕事に取り組む姿勢など、分かりやすい説明は、これからの高校生活、進路などいろいろなことに生きてくると思います。



医療安全管理より だより

こんなことしています

医療安全相互チェック

当院が対象病院

国立病院機構では、医療安全の質を高めるために、管理体制、具体的方策、医療事故発生時の対応方法など、多岐にわたる指針を設けそれをもとに様々な安全対策を実施しています。その中のひとつに病院間での「医療安全相互チェック」があります。

これを行うことで、①自施設の課題を浮き彫りにし、他施設の良い取り組みを吸収（情報共有）することができ、医療安全の質の向上につながる。②評価側、被評価側ともに医療安全に対する姿勢が高まり、人材育成につながる。③院内感染対策、医療事故発生時の原因究明、再発防止策の助言ができ、病院間での連携が期待できる。などの効果が得られます。

今回は、南岡山医療センター（オブザーバー）、東徳島医療センター（評価施設）という分担で当院がチェックを受けました。

126項目にわたる自己評価をもとに評価者・オブザーバーが良い点、改善を要する点について提言してくれました。

院内ラウンドは、重症心身障害児（者）病棟、療育指導室、栄養管理室、理学療法室、手術室を中心に実施しました。ベッド柵の上げ忘れ防止、骨折予

防、内服薬投与時の患者確認方法など、細やかな対応ができているとの評価が得られた一方で、吸入器の管理、モニターのコード類の管理、浴室の管理などの改善点について指摘をいただきました。

これらのことを念頭に置いて、今後も医療安全の取り組みを続けてゆきたいと考えています。

災害時の非常食は…



栄養管理室をラウンド中



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

寒さが厳しくなってくるこの時期は、うどんやラーメンといった麺類やお鍋、グラタン、シチュー、おでんなど…。何だかホッとするようなメニューが恋しくなりますね。

最近は、コンビニエンスストアでも冬の定番商品となっている「おでん」ですが、中でもダシのよく染みた「大根」は、年齢を問わずファンの方も多いのではないのでしょうか。今回は、そんな人氣の食材「大根」に着目してみたいと思います。

古くは、紀元前2200年の古代エジプトの時代には、今のハツカダイコンに近いものが栽培されていたそうで、ピラミッド建設労働者の食糧とされていたとの栽培記録もあるそうです。その後、ユーラシア大陸の各地へ、そして、弥生時代には日本にも伝わり、現在では全国各地で110種類以上もの品種が栽培されるようになってきました。「大根」という名は、大きな根を意味する大根（おおね）から付けられたようです。

ふろふき大根や煮込み料理、味噌汁などの汁物の具材には勿論ですが、サキ（先端部分）は、汁が少なく辛味もある為、大根おろしなどの薬味としてよく使われます。また、クビ（葉に近い部分）は、汁が多くて甘い為、サラダや刺身のつまにするなど生で食べるメニューがオススメです。

食べたり飲んだりする機会が多くなりがちな時期ですが、大根には、ジアスターゼという成分が含まれており、消化を助けてくれる働きがあります。

年末年始の少し疲れた胃には、やさしい食材ですね。

今年も皆様にとって、よい年となりますように。



看護学校の頁 ～学び舎から～

第一五回 学校祭

和顔愛語 ～笑顔と思いやりの心～

学校祭の企画・運営は学校祭実行委員のメンバーで夏休み前から計画し、実習と両立しながら準備を行ってきました。最初は皆、何から行っていいか、何をしたいか分からず、資料作りや企画がなかなか進みませんでした。しかし、学校祭が近づくにつれて、みんなの意識が高まり、積極的に自分から行動し、企画書を作ってブースのメンバーに指示を出すなど企画・運営を自分たちで積極的に行うことができました。今年の学校祭のテーマ「和顔愛語」に合わ

せ、来ていただいたお客様に楽しんでいただけるように、『みきゃん』と一緒に保育園児さんやお客様の案内を行ったり、『済生会松山ワークショップなでしこ』の方にお越しいただきました。お客様や学生とのパン販売を通しての交流を行うことで、より多くの方との交流の場を作ることができました。

学校祭当日は200人以上の方が来校してくださいました。イベントブースでは保育園児さんをはじめとして輪投げやバルーンアートを楽しんでいただくことができました。食品ブースでは焼きそば、うどん、おでんの販売をしましたが、どれも好評でした。ゲストとして来てくださった『アカペラオレんじ』さんによる歌のステージも、お客様に楽しんでいただくことができました。その他のブースも今まで一生懸命準備してきたものを皆様に楽しんでいただくことができ、非常に有意義な学校祭となりました。

実行委員長 山木 結菜
副委員長 池田 菜乃

これが、いいの？



バザーのひとコマ

ちよつと言い放し

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

京都に旅行に行ったときのことです。神社で参拝をしていると、行列を見かけました。何だろーと思いい見に行ってみると、みなさん御朱印帳に書いていたため列に並んでいたのです。近頃、私の周りでも御朱印集めを始めたという話を聞くことがあったのですが、まさか行列ができるほど流行っていたとは…。せっかくな京都市まで来たので、私も始めてみたいと思いました。

様子をうかがうと、御朱印所の横に御朱印帳も売っていました。後に調べて知ったのですが、お寺や神社によつては、そこでしか購入できない限定デザインの御朱印帳も販売しているそうです。早速それを購入し、御朱印集めを始めました。

御朱印は単に印を押すだけではなく、寺社名や日付を墨で書いていただきます。御朱印とはそもそもお寺から始まったもので、写経を行い、それを奉納した証としていただけのものだったそうです。その後、神社などにも広がっていき、現在ではお城でもいただける場所があります。御朱印は参拝した証としてももらえるものであり、お礼やお守りと同じく尊いものとされているそうです。

実際に集めてみると御朱印も書き手によつて、勢いのあるもの、繊細なものなどそれぞれに味があり、ここではどんなものがあったかというのどころか楽しみになります。また帰ってきて見返してみたときには、山を登つてやつとの思いで参拝した先にいただいたことや、書いてくださった方とのちよつとしたやりとりなどをしみじみと思ひ出します。流行に乗っかって御朱印集めを始めた私ですが、一つ一つの御朱印に愛着もわき、想像以上に奥深いものです。

旅先で寺社巡りをすることはありますが、身近な場所での参拝となると意外とあまりしたことがありません。これを機に、今年には御朱印帳を片手に、県内のお寺や神社に参拝に行ってみたいと思います。



※写真はイメージです。

外来診療担当医表

内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金
循環器内科	船田	岩田 泉 関谷	岩田 泉 檜垣	岩田	船田
消化器内科	古田	山内(一)	久保 廣岡	山内(一) 糖尿病専門 大藏	久保
呼吸器内科	阿部	伊東 渡邊	佐藤	阿部 大久保	伊東 中村
神経内科	小原	松本		小原	戸井
外科	石丸				
消化器外科		鈴木	森本	渡部(第3)	
呼吸器外科				佐野(第4木曜日) (14時30分~)	湯汲
整形外科 午前のみ診療	宮本 横手			宮本 大野	大野
リハビリテーション科		曾我部	曾我部		
専門外来 (予約制)	心臓外科			泉谷(隔週)	
	ペースメーカー外来			第2・4(午後)	
	糖尿病外来				古川(第2・4)
	フットケア外来			毎週	
	スキンケア外来		第1・3(午前)		
	ペインクリニック			山内(康)(午前)	
	じん肺外来				西村(第1・3)(午前)
	アスベスト外来		午後		午後
	息切れ外来	渡邊(13時30分~)			
	SAS外来				渡邊(14時~16時)
	神経難病			橋本	
	小児(神経外来)	矢野		濱田	矢野
頭痛外来				永井(第2・4)(午前)	

※外来受付は8時30分から12時までです。内科は13時から16時までです。
 ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

2017年1月1日現在

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

当院の位置と交通



高速道路川内ICまでの所要時間

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分
(川内ICから当センターまで車で5分)

交通機関

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分
- 自家用車 松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会までお寄せください。